

新聞づくりを通して海と島でできた日本を学ぼう！



# うみやまかわ新聞

『うみやまかわ新聞』は、小学校高学年生(主に5～6年生)を対象にしたアクティブ・ラーニングのモデルカリキュラム。2014年にスタートして以来、14地域・10校・244人の子どもたちが学んでいます。郷土愛を育む総合的な学習に最適な「新聞づくり」の手法で、自らが暮らす地域について学び、インターネットを活用して他地域の子どもたちとの交流を図ります。地域教育・キャリア教育・コミュニケーション教育として、地域の未来を担う子どもたちが「多面的・総合的にものごとを見て、考える力」「自然や人とのつながりを尊重する心」「情報の基本知識(メディアリテラシー)」などを学び、「地域への愛着や誇り」「自らの言葉で思いや考えを伝える姿勢・技術」を養うことのできる、教育プログラムを導入しませんか？

地域の未来を担う子どもたちの教育に  
ICTを活用しながら「地域を知り、考え、伝える」  
プログラムを導入しませんか？

## テレビ電話会議システムによる授業

年間授業時間は20時間。授業ではインターネットを使ったテレビ電話会議システムを活用し、離島経済新聞社が授業や進行サポートを執り行います。



## グループワーク中心の授業

子どもたち自身の「気づき」に重点を置くため、授業ではグループワークを繰り返し実施。自分の地域について、考え、調べ、話し合い、知識や思いを深めます。



## 子どもたちによる取材・原稿制作

離島経済新聞社サポートのもと、取材や原稿制作は子どもたちが行います。地元で活躍する大人への取材は、子どもたちが地域とつながるきっかけとなります。



## 他地域の子どもたちとの交流体験

プログラムの過程では、同じプログラムに参加する他地域の子どもたちとの交流体験も実施。テレビ電話会議システムを活用して、自己紹介や発表を行います。



お問い合わせはこちらまで

導入対象：小学校・自治体・地域活動を行う団体など

導入例：小学校の総合学習時間内で実施、地域の課外活動として実施など

次回実施期間：2017年4月～2018年3月

導入費用やスケジュールなど詳細やご相談など、お気軽にお問い合わせください。

『うみやまかわ新聞』事務局

TEL：03-5432-9831(10:00～17:00)

Mail：umiyamakawa@ritokei.com